

平成27年度 指定管理者年度総合評価表

(平成27年4月～平成28年3月実施分)

作成日	平成28年 6月 6日
-----	-------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市高館地区市民センター		
所在地	八戸市大字河原木字小田上 26 番地 20		
施設概要	設置目的	防衛施設の設置及び運用により生活環境を著しく阻害されている市民の福祉の増進を図ること。	
	施設規模	施設面積:1,001.53 m ² 建物構造:鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積:320.27 m ² 施設の内容:集会室、和室等	
	管理方針	(1) 管理運営に当たっては、地方自治法(第244条)並びに八戸市学習等供用施設条例及び八戸市学習等供用施設条例施行規則等の関係法令を遵守すること。 (2) 利用者の意見及び要望を適切に管理運営に反映するとともに、差別的取扱いをしないこと。 (3) 施設の設備及び備品については、利用者が快適に利用できるよう、適切に維持及び管理を行うこと。	
指定管理者	名称	高館地区連合町内会	
	代表者	会長 守田 日出夫	
	所在地	八戸市大字河原木字小田上 4 番地 7	
指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日		
指定管理者の業務	(1) 学習等供用施設の使用の許可に関する業務 (2) 学習等供用施設の施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) その他市長が必要と認める業務		
市所管課(問合せ先)	総務部総務課 総務・選挙グループ		
	電話	0178-43-9167 (直通)	
	E-mail	somu@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	利用者が利用しやすい施設環境づくりに努める一方で、利用条件の遵守に協力を求めることで、適切な管理運営を図ることができた。
今後の目標	これまで同様適切な管理運営を継続するとともに、利用者本位の環境づくりに励んでいきたい。

■市(所管課)の総合評価

評価	これまで同様、利用者ニーズに合わせた開館時間の弾力的運用が図られており、利用件数も前年度とほぼ同様の実績を維持できている。 利用者による随時の清掃・整頓を行い、また、管理者である連合町内会による定期清掃を行うことで、施設の維持管理が適切に行われていたと評価できる。
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された開館時間の他、夜間、日曜・土曜日及び祝日においても、利用者の要請に対して柔軟に対応するようにしていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
従事者の労働環境確保	—	地域住民による管理のため対象外。
従事者の教育・研修	—	地域住民による管理のため対象外。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備されており、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月別利用状況、収支報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	—	指定管理料が無いため対象外。
通帳、印鑑の管理	—	指定管理料が無いため対象外。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可等業務は、条例・規則に従い適切に行われた。（使用制限、入場拒否の事例なし。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	◎	利用者が前年度比 102.3%で、前年度の実績を上回っている。 ※26年度利用者実績：310件/延べ 3,051人 27年度利用者実績：303件/延べ 3,124人

3 収支状況		
指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	—	施設の維持管理に要する経費は、地元自治会で徴する維持管理協力金、自治会費等で賄われていた。

4 運営に係る体制整備状況等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査は行っていないが、利用者によるその都度要望等を聞き取ることで、要望に対して迅速に対応できるような体制を構築していた。
施設概要(利用方法)の周知	○	利用者が限られているので、施設利用要望がある都度、利用方法を周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等があれば速やかに対応する体制になっていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	利用者が持ち帰らなかったごみは連合町内会員が分別後回収し、施設及び周辺環境の美観維持に努めるなど、適切に行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	随時、修繕箇所等を点検するほか、利用者からも聞き取りを行うなどした。

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	四半期業務報告書が提出され、内容も適切であった。 (施設設備の状況については随時報告された。)

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	3回	6月16日	担当	事業実施状況確認 施設の運営に関する意見交換
		6月30日	担当	事業実施状況確認
		2月9日	担当	施設の運営に関する意見交換 事業実施状況確認
実施結果				
施設の運営が適切に行われていた。				